



福岡教育大学教職大学院 2025 スクールリーダーシップ 開発コース

2025年4月 教職大学院に
特別支援教育向上コース 誕生！



国立大学法人
福岡教育大学
University of Teacher Education Fukuoka

教科教育力の組織的向上を目指すリーダー

児童生徒支援の専門性向上の担い手

特別支援教育の体制づくりの推進役

学校の課題解決を目指す次世代スクールリーダー

育成するリーダーとしての 人材像とカリキュラムの特色

現職教員を対象とするスクールリーダーシップ開発コースでは、4つのプログラムを設け、地域や学校において指導的役割を果たすことのできる、確かな専門性と優れた実践力・応用力を備えたスクールリーダーを育成します。また、本コースは、学校マネジメント系科目を4つのプログラムの必修・選択科目と位置づけ、総体として小学校・中学校・高等学校・特別支援学校における「スクールリーダー」人材を幅広く育成することを目指しています。

学長メッセージ



福岡教育大学は、豊かな知を創造し、教育実践力にあふれた教員の養成を目指しています。九州・沖縄地方を中心とし、持続的な発展に寄与する人材を育成する教員養成の拠点大学として、生涯にわたり学び続ける有為な教育者を養成しています。

その中で、教職大学院は、新たな学校づくりの一員となる若手教員の養成、学校や地域における優れた実践力・応用力を備えたスクールリーダーの育成を目指しています。

本学では、平成21年に教職大学院（専門職学位課程）を設置し、これまで402名の修了生を輩出してきました（令和6年3月現在）。同大学院は令和3年のコース・プログラム再編に続き、令和7年度の新設コース（特別支援教育向上コース）の設置に向けて動き出しています。今次に求められる特別支援教育の高度化に対応する大学院として拡充していきます。

今後も、学校や教育委員会との連携を更に深めながら、研究・教育体制の充実と発展に寄与していきます。未来の教育を担う熱意あふれるみなさんの入学を心よりお待ちしております。

福岡教育大学 学長 飯田 慎司

スクールリーダーシップ開発コース内の4プログラム

※2024年度のプログラム編成を示しています。特別支援教育推進コーディネータープログラムは、2025年4月から特別支援教育向上コースに再編されます。

1

教科指導力を組織的に高める 教科教育リーダープログラム

国語科、社会科、数学科、理科、英語科、保健体育科の6教科を対象に、専門的学びの創造を目指します。教科の指導法や専門内容の学修と、授業実践力の向上や研修のシステムづくりに向けた力量を高めます。

2

学校適応を包括的に推進する 学校適応支援リーダープログラム

校内の生徒指導・教育相談・キャリア教育・特別支援教育等の学校適応支援状況を俯瞰し、個別の課題への対応と、体制づくりに向けた組織的取組を推進する専門的力の養成を目指します。

3

校内外の特別支援教育を発展させる 特別支援教育推進コーディネータープログラム

特別支援教育を推進する地域のリーダーとなり、通級指導教室や特別支援学級での指導等にも対応できる力量形成を目指します。障害の理論と実践は、オムニバス方式で特別支援教育の諸領域の専門的に学びます。

※特別支援教育推進コーディネータープログラムは、2025年4月から特別支援教育向上コースに再編されます。

4

学校課題解決のシステムを構築する 学校運営リーダープログラム

学校全体の教育実践や指導の改善や、研究プロジェクト推進のための指導力を育成します。学校運営に必要な諸理論を学び、現場を多面的に捉えられる、教頭、主幹教諭、指導教諭等、リーダーを目指します。

専攻主任挨拶



本教職大学院は、これまでの大学院教育（修士課程）の成果を踏まえ、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新任教員の養成、地域や学校における指導的役割を果たし得る確かな指導理論と優れた実践力・応用力を備えたスクールリーダーの養成、現代的な課題に対応する研究能力を有した専門職人材の養成などを旨とした大学院づくりに向けて日々邁進しております。具体的には、高度専門職業人としての教員に求められる資質・能力を育成するために、講義・演習、実習、課題演習科目を通じて、優れた教育実践を分析・検討して理論化したり、理論的な背景に基づいた構想を実践レベルに具体化したりするなど「理論と実践の往還」を重視した教育課程を編成・実施しています。

現在、令和7年度の特別支援教育向上コースの設置に向けて、関係諸氏の皆様のご意見をいただきながら様々な取り組みを進めているところです。今後の教職大学院の取り組みにどうぞご期待下さい。

専攻主任 坂井 清隆

教職実践専攻(教職大学院)の4つの特徴

合計
46
単位

18
単位

現職教員院生と学部卒等院生が共に学ぶ

共通科目

共通科目は、全コースの院生が共通に学ぶ基本科目で、今日的な教育課題について幅広い専門的知識と実践力を修得するための5領域から構成されています。

概要

学部卒等院生と現職教員院生が学校教育に関する内容5領域(教育課程、教科指導、生徒指導、学級・学校経営、学校教育と教員の在り方など)について学びます。

4
単位

2年間の学びの成果としての

「課題演習」

教職大学院では、2年間を通して「課題演習」が設定されています。教育実践研究の進め方を習得したり、学校現場がもつ課題の改善・解決のための取組を実践し発表します。

概要

各人の設定するテーマに基づく2年間の実践的研究(学校・自治体に貢献するテーマを検討します。)を行います。

14
単位

教師としての各領域の専門的力をさらに高める

コース別科目

実践力、教育の未来を考えるための幅広い専門的視野と実践的開発力の育成のため、各プログラム3～5領域から構成されています。各コースやプログラムの育成する人材像に沿った授業を講義・演習形式で行います。

概要

教師としての各領域の専門性を深める科目で構成されています。

10
単位

理論と実践の往還の基盤となる

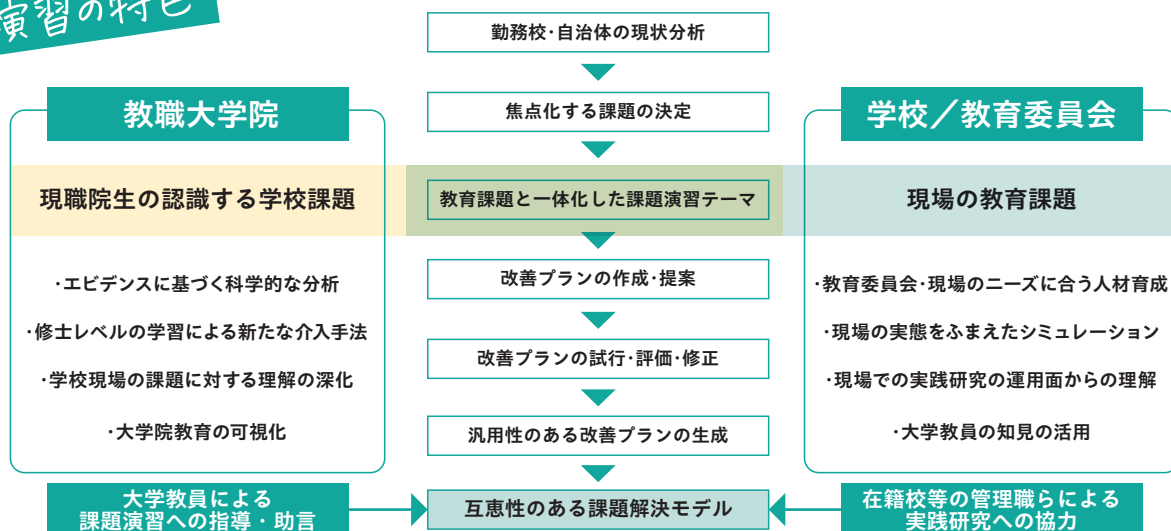
学校における実習

教職大学院の基本的課題である理論と実践の往還をめざし、すべてのプログラムにおいて幅広い領域の実習を2年間通して行います。実習は本学の附属学校に加えて、公立学校と連携して実施します。

概要

理論と実践の往還の基盤となる継続的な実習を行います。

課題演習の特色



コース主任挨拶

スクールリーダーシップ開発コースは、学校における教育活動の牽引役を担う、中堅教員すなわちミドルリーダーとなるべき現職教員の養成を意図したコースです。このコースには教科教育リーダープログラム、学校適応支援リーダープログラム、特別支援教育推進コーディネータープログラム、学校運営リーダープログラムの4つを備えています。それぞれのプログラムにおいて、教育の現代的課題に関する講義を受けたり、専門職として実践力を高めるための実習に参加したり、在籍する学校における課題をテーマにした研究に取り組んだりしています。教育実践力開発コースの院生を若手教員にみたててメンタリングやコーチングの機会を得ながら、リーダーとしての力をつけていきます。



コース主任 中山 健 教授

教職大学院での2年間の学びの流れ

授業・課題演習・学校実習が連動し学びを深めるカリキュラム

4月オリエンテーション

研究者教員と実務家教員による指導

新人院生と合同の共通科目

プログラムをこえた協議

多様なキャリアステージの仲間と学ぶ授業



授業の様子

演習を取り入れたコース別科目



中間報告会

学内行事：
現職コース
合同ゼミ

M1の次年度に
向けた実践研究
の発展のため、
プログラムを越
えてスクール
リーダーシップ
開発コースの教
員・院生で協議
し、改善策を検
討します。

個別課題に迫る課題演習

学校
アセスメント・
ニーズ調査

・学校課題の分析
・探求課題の焦点化
・勤務校との調整

9月：(学内)
課題演習報告

秋期：(自治体)
長期派遣進捗報告

モデル
づくり

・モデル事業実践(試行)
・エビデンスによる成果検討
・次年度計画調整・改善

春期：(自治体)
長期派遣進捗報告

1年前期

1年後期

様々な学校実習

自身の授業実践を再点検する附属学校・園での実習



特別支援教育に関わる実習



実習先での活動



院生活動紹介

教科教育リーダープログラム

テーマ 高等学校数学科における
「思考力・判断力・表現力等」を育成する授業実践
—パフォーマンス課題を中心とした単元デザインを通して—

西岡 賢吾 さん 福岡県立香椎高等学校

私たちは現在、AI技術の進歩や国際情勢の複雑化など急速に変化する社会の中で生活しています。我々教師は、子どもたちに予測困難な時代を生き抜いていく力を身に付けさせることが急務となっています。在籍校では、社会で必要とされる学力の定着を重点目標に掲げ、授業改善を図ることが求められています。限られた時間数の中で知識偏重ではなく、変化に対応できるように「思考力・判断力・表現力等」を育成する授業を行うためには、パフォーマンス課題を評価課題に据えるような単元デザインが必要だと考えました。1年次は、特定のクラスにおいて研究を進め、資質・能力に焦点を当てた単元デザインを行うことができました。研究で学んだことを県全体の教育に還元できるようにさらに研鑽に励むつもりです。



学校適応支援リーダープログラム

テーマ 不登校・不登校傾向生徒の社会的自立に向けて
—教育相談コーディネーターを中心とした校内支援体制整備
と心理教育の実践—

徳重 直子 さん 福岡市立玄洋中学校

福岡市の全中学校には、生徒支援の担い手として、教育相談コーディネーターが配置されています。私は不登校生徒の社会的自立に向け、教育相談コーディネーターを中心とした支援体制の整備や、社会や人とのよりよい関わり方を身に付けるための心理教育の在り方の究明を目指し、研究を進めています。在籍校では、校長先生や先生方の理解と協力を得ながら、教職大学院での学びを実践につなげているところです。今後もニーズや実態に応じた不登校生徒への支援や、すべての子どもの学校適応の実現となるよう、大学院での学習と研鑽を重ねていく所存です。



○講義系科目(共通科目・コース別科目)は1年前期・後期が中心になります。各種実習・課題演習が並行して行われます。

○実習:各期毎にテーマの異なる実習が行われます。プログラムによって通年型・集中型の多様な実習先(附属学校・児童支援施設・勤務校等々)で学びを深めます。

○課題演習:1年度・2年度末に教育委員会や勤務校・実習校、多数関係者にご参加いただき「中間報告会」「最終報告会」で成果を報告します。

個々のゼミ指導



授業時のディスカッション



校種の異なる現場の課題解決



コース別科目の様子



研究報告会での発表



対面型/オンライン型



「研究報告会」では、研究成果を学内外の方々に発表します。

最終報告会

修了後の フォローアップ

「継続した学会等 での研究発表」

修了後も学び続ける教師としての多様な取組をサポートします。

「FUE学校 適応研究会」

本教職大学院で学び、学校心理士の資格を取得された方のリカレント教育のため、本研究会では年5回程度の研修会を行っています。

本実践

- ・学校全体など課題解決の提案を広く展開
- ・スクールリーダーとしての課題意識に基づく検討

9月:(学内)
課題演習報告

秋期:(自治体)
長期派遣進捗報告

本実践の汎化 学校改革の推進

- ・実践成果と課題の集約
- ・改善内容の定着化
- ・スクールリーダーとしての俯瞰的視点

春期:(自治体)
長期派遣最終報告

2年前期

2年後期

実習先での報告会



管理職業務のシャドウイング



若年層教員の人材育成



実習先での校内研修



特別支援教育推進コーディネーター プログラム

テーマ 「さらくサポートスタイル」による
校内支援体制の推進
―ケース会議の活用・校内支援体制の整備を通して―

柳田 円香 さん 北九州市立皿倉小学校

在籍校には、多種多様な教育的ニーズがある子ども達があり、迅速で確実な支援を講じていかなければ事態は改善できません。私はそのような現状に対し、グループウェアを取り入れた校内支援体制が有効ではないかと考え、研究をしています。研究を進める上で、教授の先生方や同じコースの仲間たちから質の高い助言や示唆をいただけるのはもちろん、様々な実習や授業、プログラム別のゼミで得られた学びを反映することができます。この学びは大学院ならではのものであり、今後も現場に還元していけるように努めたいと考えています。



※特別支援教育推進コーディネータープログラムは、2025年4月から特別支援教育向上コースに再編されます。

学校運営リーダープログラム

テーマ 同僚性意識を高める教員集団形成に関する研究
―重点課題をテーマにした Round Study を通して―

池永慎一郎 さん 直方市立直方東小学校

教育環境の困難化・多忙化、教員の大量退職・大量採用による適性や指導力の問題の顕在化、中堅指導者層の経営参画、全教職員による学校運営への参画意識の向上等が求められています。組織として教育活動に取り組む指導体制を整備し、チームとしての学校を創り上げていくためには、心理的安全性を土台とした同僚性の構築が必要だと考え、研究を進めています。同僚性に関する実態分析をもとに、校内研修を中心とした実践によって、同僚性意識を高める教員集団形成の在り方を追究しています。在籍校をはじめ直方市の学校運営や人材育成に活かすことができるように研鑽を重ねたいと思います。





教科教育リーダープログラム

教科等の高度な実践的指導力を有し、教科指導上の課題分析、課題解決に向けた具体的な取組の推進において指導的役割を果たすリーダー教員を育成します。「校内体制づくり」領域、「教育実践開発」領域、「学校マネジメント」領域をプログラムの柱として、教科の専門的な指導力向上を推進する人材を育成します。

出願時のポイント

- ・高等学校における教科のスペシャリストになりたい。
- ・教科に関する高度な教材研究を深めたい。
- ・授業研究やカリキュラム開発の手法を学んでみたい。
- ・各学校における人材育成の指導的な役割を担う人材を目指したい。



プログラム代表
兼安 章子 准教授



太田 亨 特任教授

特色あるカリキュラム

- 教科のスペシャリストとしての優れた教科指導能力の向上
- 教科・領域を関連付けた教育課程の開発
- 教科のスペシャリストとしての教科指導能力向上を促進する実習と講義の往還



授業科目紹介

「教科内容研究と教材開発Ⅳ」(国語科)

授業担当 **青山 之典**

高等学校で国語科を担当している現職教員向けの授業で、理論をもとに教科指導上の学校・地域の課題を捉え、改善につながる授業を創造できるようになることが目標です。宮原院生は生徒たちの姿を思うかべながら新たな授業を生み出して、感銘を受けました。



受講生の声

福岡県立朝倉高等学校

宮原 優子さん



これまで扱ってきた国語科教材の価値を、学術的視点から見つめ直す授業でした。語学や文学に留まらず、音声学などの多岐にわたる分野に触れたことで授業者としての知見が大きく広がり、授業を構築するうえでのリソースを大幅に増やすことができたと感じます。

時間割例

※ 共通科目 コース別科目

1年前期

	月	火	水	木	金
1				特別活動・総合的な学習の時間の実践と課題	学校における統計基礎
2	生徒指導の理論と実践	スクールコンプライアンスと教職プロフェッションの開発			現代社会における教育の課題
3	障害のある児童生徒の理解と合理的配慮		【実習】異校種実習(附属中学校 6月2週間週4日)	教科教育の理論と実践Ⅰ	教科教育実践と指導法の改善
4				勤務校との調整 先進校の視察等	
5	教科内容研究と教材開発Ⅰ	学校カウンセリングの方法			課題演習Ⅱ-1

集中講義: チーム学校と学校組織マネジメント

1年後期

	月	火	水	木	金
1	教育改革の動向と学校経営・学級経営の課題			課題演習Ⅱ-2	
2		教科内容研究と教材開発Ⅱ		学校間連携・地域連携マネジメント	
3		自立活動の理論と心のバリアフリーの実践	【実習】教科指導基礎実習(10月~2月 週1回15週間)		
4	カリキュラム・マネジメントの理論と実践	授業分析・リフレクションの理論と実践		勤務校との調整 先進校の視察等	
5	教科内容研究と教材開発Ⅲ	教科教育の理論と実践Ⅱ			

集中講義: チーム学校と学校組織マネジメント



学校適応支援リーダープログラム

「学校の教育目標の達成には、子どもの学校適応が不可欠である」という認識のもとに、「教育相談コーディネーター」をはじめとする学校適応支援の包括的かつ専門的な力量形成を目指します。全ての子どもが学校に適応できるように、学校内外の教育や福祉に関わる関係者および関係機関をコーディネートし、地域の児童生徒支援のネットワークで指導的な役割を果たすことができるスクールリーダーを育成します。

出願時のポイント

- ・子どもの学校適応を支援する専門的な力量を高めたい。
- ・生徒指導・教育相談・特別支援教育・キャリア教育・学習指導・校内体制づくりを包括的にコーディネートする力量を高めたい。
- ・学校内外の関係機関を含めたネットワークづくりをリードする人材を目指したい。



プログラム代表
山田 洋平 准教授



野口 博明 特任教授 西山 久子 教授

特色あるカリキュラム

- 校内の生徒指導・教育相談・キャリア教育・特別支援教育等の学校適応支援の状況を俯瞰
- 学校心理士資格取得（学校心理士養成課程に準拠したカリキュラムによる受験科目免除の措置が受けられます）
- 教育相談コーディネーター等としての学校適応の専門性取得に向けた実習と講義の往還



授業科目紹介

学習指導支援の理論と実践

授業担当 **山田 洋平**

この授業では、教授・学習に関するキーワードの定義や意味をまとめ、それに関連する学習指導や学校生活場面を取り上げて、今後の指導や支援の改善について考えていきます。授業を通して、一度は聞いたことがあるキーワードの意味を改めて整理することで、新しい指導や支援策の構築につながると期待しています。



受講生の声

早稲田佐賀中学校・高等学校

日下 典子 さん



昨今の学校現場に合わせ、指導や支援方法の改善に活用できる授業です。具体的には、学習に関する用語について小グループで理解のための検討をし、その後、先生から解説をいただきます。ディスカッションをすることで理解を深めることができました。

時間割例

※ 共通科目 コース別科目

1年前期

	月	火	水	木	金
1		課題演習Ⅱ-1			学校における統計基礎
2	生徒指導の理論と実践	スクールコンプライアンスと教職プロフェッションの開発	【実習】 特別支援教育実践実習 (附属福岡小・中学校 9月2週間週4日) 授業研究実習 (附属小・中学校 6月2週間週4日)	勤務校との調整 先進校の視察等	現代社会における教育の課題
3	障害のある児童生徒の理解と合理的配慮			教科教育実践と指導法の改善	
4		予防・開発的教育相談			
5	(M2 との) 合同ゼミ	学校カウンセリングの方法			

集中講義: チーム学校と学校組織マネジメント

1年後期

	月	火	水	木	金
1	教育改革の動向と学校経営・学級経営の課題	学習指導支援の理論と実践			
2	教育的ニーズの把握と評価		【実習】 学校カウンセリング実習A (10月~2月 週1回15 週間)	勤務校との調整 先進校の視察等	
3	課題演習Ⅱ-2	自立活動の理論と心のバリアフリーの実践			
4	カリキュラム・マネジメントの理論と実践	授業分析・リフレクションの理論と実践			
5	(M2 との) 合同ゼミ	実習スーパービジョン			

集中講義: 発達援助の理論と実践 チーム学校と学校組織マネジメント



※特別支援教育推進コーディネータープログラムは、2025年4月から特別支援教育向上コースに再編されます。

特別支援教育推進コーディネータープログラム

小・中・高等学校等において、学校組織に働きかける「特別支援教育コーディネーター」等として、生徒指導・教育相談・キャリア教育といった全ての児童生徒に通じる視点を持ちながら、特別な教育的ニーズのある児童生徒への学習指導や適切な支援に向けた学校体制づくりの取組をリードします。

出願時のポイント

- ・特別支援教育コーディネーター、通級による指導、特別支援学級担当者としての力量を高めたい。
- ・自立や社会参加と共生社会の実現にむけて、特別支援教育の校内組織体制づくりを進めたい。
- ・特別な教育的ニーズのある児童生徒の学習指導や支援に向けた学校体制づくりをリードしたい。



プログラム代表
河村 暁 准教授

特色あるカリキュラム

- 特別支援教育を推進する地域のリーダーとなり、通級指導教室や特別支援学級での指導等にも対応できる力量形成
- 学校心理士資格取得（学校心理士養成課程に準拠したカリキュラムによる受験科目免除の措置が受けられます）
- 特別支援教育コーディネーター等として特別支援教育の推進を担える力量を形成できる実習と講義の往還



中山 健教授 牛島 玲教授 青木 康彦講師

授業科目紹介

障害の理論と実践

授業担当 牛島 玲 (ほか)

この授業は研究者教員と実務家教員の協同による講義と演習とを通して、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、言語障害、発達障害の特性について学びます。障害特性に応じた指導方法を理解し授業づくりを行うことで理論と実践とを結びつけます。この授業では障害の理論について一歩踏み込んだ内容を講義することを目指しました。例えば発達障害の回では脳の機能や知能理論に言及します。同時にそうした知識の実践活用を志向して利用しやすいアセスメントや指導法を具体的に紹介・体験しました。



受講生の声

福岡市立香椎小学校
猪本 ゆりか さん



様々な障害についてそれぞれ専門の先生方にオムニバス形式で行っていただきました。障害の特性や実態を理解したうえで、さらに子どもに応じた指導案を構想し検討しました。特別支援学校や特別支援教育を支える教師にとって知識と実践力が得られる授業だと思いました。

時間割例

※ 共通科目 コース別科目

1年前期

	月	火	水	木	金
1		課題演習Ⅱ-1			学校における統計基礎
2	生徒指導の理論と実践	スクールコンプライアンスと教職プロフェッションの開発	【実習】特別支援教育実践実習（附属福岡小・中学校 9月2週間週4日）	現代社会における教育の課題	
3	障害のある児童生徒の理解と合理的配慮			勤務校との調整先進校の視察等	教科教育実践と指導法の改善
4		予防・開発的教育相談	授業研究実習（附属小・中学校 6月2週間週4日）		
5	(M2 との合同ゼミ)	学校カウンセリングの方法			

集中講義：チーム学校と学校組織マネジメント

1年後期

	月	火	水	木	金
1	教育改革の動向と学校経営・学級経営の課題	学習指導支援の理論と実践			
2	教育的ニーズの把握と評価		【実習】学校カウンセリング実習B（10月～2月 週1回15週間）	障害の理論と実践	
3	課題演習Ⅱ-2	自立活動の理論と心のバリアフリーの実践			
4	カリキュラム・マネジメントの理論と実践	授業分析・リフレクションの理論と実践		勤務校との調整先進校の視察等	
5	(M2 との合同ゼミ)	実習スーパービジョン			

集中講義：発達援助の理論と実践 チーム学校と学校組織マネジメント



学校運営リーダープログラム

これまでの教職経験で身につけた学級経営力および授業力、若手教員等を指導してきた経験をもとに、それらを科学的な分析・考察により客観化する能力を身につけます。さらに、学校全体の教育実践や指導の改善をリードすることができる高度実践力を身につけ、教頭、主幹教諭、指導教諭等として、学校及び研究会等を運営し地域の課題を解決することができる将来の学校運営リーダーを育成します。

出願時のポイント

- ・学校組織をマネジメントする理論的・実践的な知識・技術を高めたい。
- ・教育課程開発(編成・実施・評価)、校内研修・人材育成、危機管理、学校評価、学校一地域連携などの学校組織マネジメントの分野を専門的に学びたい。



プログラム代表
鬼木 務 教授



峯田 明子 特任教授 大竹 晋吾 教授 森 保之 教授・副学長

特色あるカリキュラム

- 「次世代スクールリーダー教育」「ミドルリーダー人材育成」をコアとしたカリキュラム
- 学校運営リーダーとしての学校経営・運営力の修得に向けた実習と講義の往還



授業科目紹介

学校評価と授業改善

授業担当 **鬼木 務**

学校評価の目的・内容・方法の基本的な理解をもとに、実習協力校やケース校の学校評価システムの分析、ディスカッションを通して、学校改善につながる学校評価を明らかにします。授業の最後に、実効性のある在籍校の学校評価改善プランを提案する実践的な授業です。



受講生の声

那珂川市立安徳南小学校
神代 純子 さん



この講義では、先進校の事例を学んだり、院生が作成した所属校への学校評価改善プランを交流したりと様々な活動が仕組まれていて、多面的に学ぶことができました。学校、家庭、地域をつなぐことができる学校評価を現場で実践していきたいです。

時間割例

※ 共通科目 コース別科目

1年前期

	月	火	水	木	金
1				課題演習Ⅱ-1	学校における統計基礎
2	生徒指導の理論と実践	スクールコンプライアンスと教職プロフェッションの開発	【実習】授業研究実習(附属小・中学校 6月2週間週4日) 教育連携コラボレーション実習(附属幼稚園・協力校 6月・9月 各1週間5日)		現代社会における教育の課題
3	障害のある児童生徒の理解と合理的配慮				教科教育実践と指導法の改善
4	教職員の人材育成マネジメント			勤務校との調整 先進校の視察等	
5		学校カウンセリングの方法			

集中講義: 学校組織開発とデータ分析 チーム学校と学校組織マネジメント

1年後期

	月	火	水	木	金
1	教育改革の動向と学校経営・学級経営の課題	学校の危機管理と教育法規		課題演習Ⅱ-2	
2	カリキュラムマネジメントのPDCA	OJTとチームマネジメント		学校間連携・地域連携マネジメント	
3		自立活動の理論と心のバリアフリーの実践	【実習】学校組織マネジメント実習Ⅰ(10月~2月 週1回15週間)		
4	カリキュラム・マネジメントの理論と実践	授業分析・リフレクションの理論と実践			勤務校との調整 先進校の視察等
5					

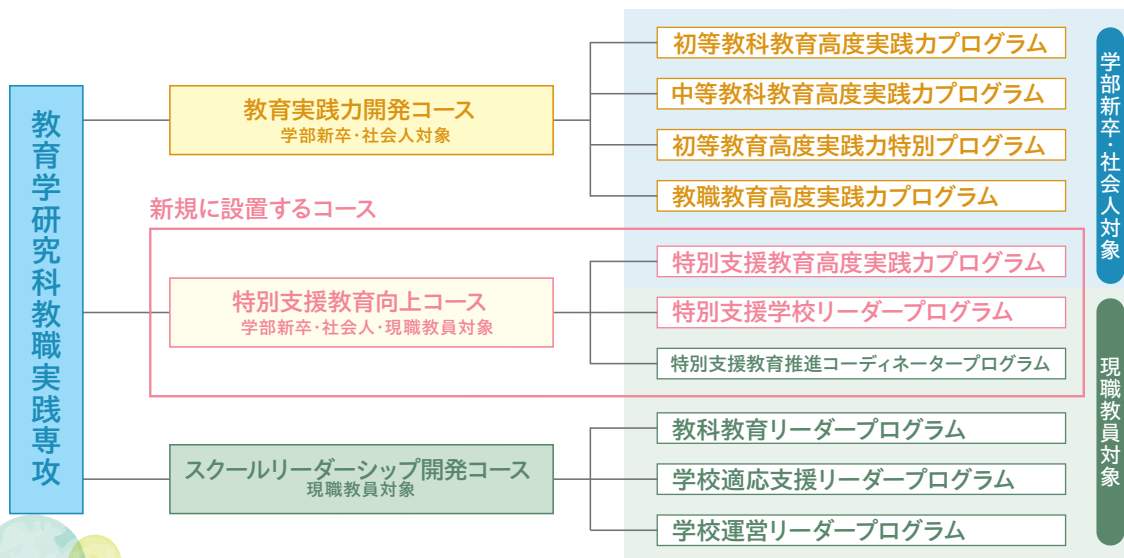
集中講義: チーム学校と学校組織マネジメント

2025年4月 教職大学院に 特別支援教育向上コース 誕生！

福岡教育大学教職大学院では、特別支援教育に特化した特別支援教育向上コースを新設します。

特別支援教育向上コースでは、高度な特別支援教育の指導の力量育成と校内や校外の特別支援教育をコーディネート、指導できるリーダーを育成します。

○福岡教育大学教職大学院(再編後)



特別支援学校 新設 リーダープログラム



自立活動の専門性、教育実践の力量を高め、特別支援学校での特別支援教育を体系化でき、教育・医療・福祉・労働の関係機関をコーディネートし、地域の学校に特別支援教育の教育実践や指導の改善を指導・助言できるリーダーを育成します。

出願時のポイント

- ・自立活動の指導及び指導計画の立案ができる力量を高めたい。
- ・特別支援教育の校内における組織化・体系化を推進する力量を高めたい。
- ・学校内外の関係者及び関係機関をコーディネートできる人材を目指したい。
- ・地域の学校に教育実践や指導の改善を指導・助言できる人材を目指したい。

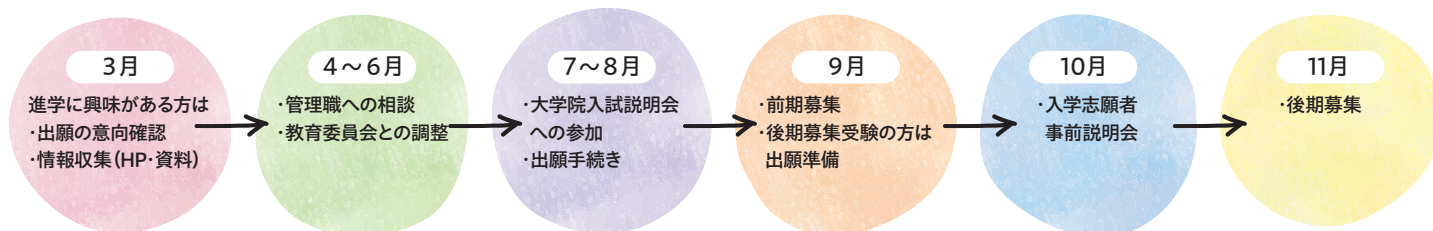


特色あるカリキュラム

- 特別支援学校において自立活動をはじめとする教育活動を推進できるリーダーとなり、センター的機能をも担当できる力量形成
- 特別支援学校におけるICT、キャリア教育、居住地交流等、実践的な授業科目
- 在籍する特別支援学校とは異なる障害種の特別支援学校における実習や、連携先として想定される地域の社会資源における実習などさまざまな実習を用意



大学院受験までのプロセス



入試概要 (詳細は、ホームページ及び募集要項をご確認ください。)

スクールリーダーシップ開発コース

【修了年限】	2年		
【修了要件】	46単位以上		
【学 位】	教職修士(専門職)		
【取得免許】	教育職員専修免許状	前期募集	後期募集
	教科教育リーダープログラム	若干名	2名程度
【入学定員】	学校適応支援リーダープログラム	若干名	4名程度
	学校運営リーダープログラム	若干名	3名程度
【対象者】	小学校、中学校又は高等学校のいずれかの教諭一種免許状を有する者で、次の①又は②を満たす者 ※教科教育リーダープログラムについては、高等学校教諭一種免許状(国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、外国語(英語))を有する者に限ります。 ① 本学教職大学院入学時において、現職教員及び教育関係諸機関に常勤職員として在職している者で、令和7年3月末日時点で原則として5年以上の教職経験(常勤講師の経験を含んでもよい。)を有する者(現職教員には幼稚園教諭や保育所勤務の保育士は含みません。)又は、この教職経験の年数に該当しない場合で、都道府県教育委員会等又は所属長が受験を認めた者 ② 「①」に相当する教職経験を有する社会人 ※②「①」に相当する教職経験を有する社会人については、学校適応支援リーダープログラムに限り出願できます。		
【選抜方法】	口述試験		

新設 特別支援教育向上コース

【修了年限】	2年		
【修了要件】	46単位以上		
【学 位】	教職修士(専門職)		
【取得免許】	教育職員専修免許状	前期募集	後期募集
【入学定員】	特別支援学校リーダープログラム	若干名	2名程度
	特別支援教育推進コーディネータープログラム	若干名	3名程度

※対象者・選抜方法については、ホームページ及び募集要項(令和6年6月公開予定)をご確認ください。

入試日程 (詳細は、ホームページ及び募集要項をご確認ください。)

	【前期募集】	【後期募集】	【第2次募集】
出願期間	令和6年9月2日(月)～9月6日(金)	令和6年11月1日(金)～11月8日(金)	令和7年2月7日(金)～2月13日(木)
試験日程	令和6年9月28日(土)、29日(日)	令和6年11月30日(土)、12月1日(日)	令和7年3月12日(水)
合格発表	令和6年10月8日(火) 10時	令和6年12月11日(水) 10時	令和7年3月21日(金) 10時

※第2次募集は欠員補充に伴う募集のため、前期及び後期募集によって募集人員を満たしたコース・プログラムについては実施しません。第2次募集についての詳細は、12月上旬頃にホームページ等で実施について公表します。

検定料、入学科、授業料(令和6年度実績)

- 検定料…30,000円 ●入学科…282,000円
- 授業料…前期分 267,900円・後期分 267,900円(年額 535,800円)

説明会

- 第1回 令和6年 6月22日(土) 14:00～16:00
場所: 教職大学院/オンライン
- 第2回 令和6年 8月17日(土) 14:00～16:00
場所: 教職大学院/オンライン
- 第3回 令和6年 10月12日(土) 14:00～16:00
場所: 教職大学院/オンライン

個別相談

対面およびオンラインでの個別相談を積極的に受け付けております。
個別相談を希望される場合は、ホームページまたは、右記QRコードをご覧ください。



説明会・個別相談

詳細は、本学ホームページをご覧ください！

福岡教育大学教職大学院

検索



国立大学法人
福岡教育大学
University of Teacher Education Fukuoka

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1-1 福岡教育大学 教職大学院
TEL 0940-72-6012
[URL] <https://www.fukuoka-edu.ac.jp/>
[E-mail] grdsptch@fukuoka-edu.ac.jp

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。